



夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより



令和5年度 第1号
編集：NSH推進課
発行責任者：梅本 浩照

県内在住外国人との交流研修

7月21日(金)、2年人文科学コースの生徒を対象に、北陸先端科学技術大学院大学から15名の留学生をお招きし、交流研修を行いました。「外国語運用能力の向上を図りながら、異文化理解を深める」というのが研修のねらいです。5～7人のグループに外国人2名という充実した環境で、生徒たちは生きたコミュニケーションを満喫しました。

1セッション(30分)の前半15分では自己紹介を、後半15分では4月から取り組んでいる課題研究の概要を英語でプレゼンし、アドバイスをもらったり、質疑応答を行いました。準備の時間があまりなかったため、「何があんでも伝えよう」の気持ちで、脳みそをフル回転させての交流となりました。言葉がうまく出でこずに詰まったりすると、留学生は助け船を出してくれたり、笑顔で目をしっかり合わせ、こちらが話しやすいような雰囲気をつくってくれました。英語のネイティブスピーカーではない方がほとんどにも関わらず、英語を流暢に話し、包容力を持って接してくれた留学生の姿勢からも、学ぶことが多くありました。あんな大人になりたいですね!課題研究は始まったばかりです。今後の研究発表会へのモチベーションが生まれたのではないのでしょうか。こちらのねらい以上にみなさんが積極的な姿勢を見せ、いろんなことを感じ、学び取ってくれたことがわかり、胸がいっぱいになりました。

【自己紹介&フリートーク(15分) + 課題研究プレゼンテーション&質疑応答(15分)] × 3sessions



●生徒の声



- 単語を頑張っしてばかりだして話そうと努力することがめっちゃ大事だなと感じた。めっちゃ脳を鍛えられたような感じがします。
- できるできないじゃなくて、やってみないと何事もできるようにならないので、積極的な姿勢が大事だと気付けた。
- 自分たちにしっかり伝えてくれているのに理解できなかったことがとてもくやしくて、でも英語で会話することが凄く楽しいと感じたので、テストのための勉強だけでなく、もっと英語で自分の言いたいことを伝えられるように進んで勉強していきたいです。
- 自分たちの英語がどのくらい伝わっているのかとても不安だったけど、全員の留学生の方から私達のテーマが興味深いと言われてもらえて、最後の発表では「もしどの班のテーマが一番好きか聞かれたらこの班だと答えるよ」と言ってもらえて本当に嬉しかったし、自分たちの課題研究に自信が持てました。貴重な経験だったし楽しかったです。
- 研修を受けるまでは、外国人と話せなくてもいいと思っていたけれど、いざ話してみると、異文化交流するのがこんなに楽しいとは思っていなかったし、英語を話すことが本当に大事だと思った。これからはALTの先生と積極的に話そうと思う。また、もっと英単語や日常会話の知識を身に付けようと思う。
- 英語の力だけでなく、自分の伝えたいことを明確に表現する能力も伸ばすべきだと強く感じられた。また、主張する際の根拠をしっかり持つことを改めて意識したいと思った。
- 他の国の文化にふれる体験をしてみただけより視野が広がった気がしたので英語でコミュニケーションを取れるように勉強したいなと思ったし国際系の仕事に少し興味が湧きました。
- 文法や単語だけでなく、理解しよう、伝えようとする気持ちや聞く姿勢をもっともっと大事にしていきたいと感じた時間でした。私は国際系の学部にも興味を持っていて、今日の活動を通して英語をもっと頑張りたいと思いました。
- 外国の方に身振り手振りを使って必死に伝えたいことを伝えることが出来た。外国にない日本の文化を伝えるときはどれだけ分かりやすく伝えられるかが大事だと学んだ。めちゃくちゃな文法になってもなんとか理解しようとして下さったので安心して話すことが出来た。